

“環境・省エネルギー技術への取り組み”

ベルト伝動技術懇話会
会長 籠谷 正則
企画委員会委員長 辻 竜彦

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、ベルト伝動技術懇話会 企画委員会主催 第14回講演会を下記のように開催いたしますので、ご案内申し上げます。今回、講演会テーマを「環境・省エネルギー技術への取り組み」として、最近の環境技術のトレンドを幅広く知る機会にしたいと考えています。

記

<日時> : 2008年9月12日(金) 13:00~16:40 (受付 12:30~)
<場所> : キャンパスプラザ京都4階 第1講義室 (別紙地図参照)
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
(JR京都駅 京都中央郵便局西側徒歩 5分) TEL. 075-353-9111

<内容>

1. 『クリーンディーゼル 市場動向とイメージ改善・普及促進』
ボッシュ株式会社 山口 進 氏
2. 『伝動ベルトにおける環境対応(省エネ)技術について』
バンドー化学株式会社 城戸 隆一 氏

[休憩 約20分間]

3. 『クリーンディーゼル自動車と燃費の動向』
独立行政法人 交通安全環境研究所 後藤 雄一 氏
4. 『産総研の研究戦略とエネルギー研究への取り組み』
独立行政法人 産業技術総合研究所 神本 正行 氏

* 各種ベルト及びベルト原料・素材、関連部品などの展示(カタログ)

<会員各社のご協力>

<講演概要>

1. 「クリーンディーゼル 市場動向とイメージ改善・普及促進」

- 1) 世界の自動車市場（生産見通し、ディーゼルシェア）
- 2) 日本とヨーロッパのディーゼルに対する認識の違い
- 3) 地球温暖化防止に効果的なディーゼル
- 4) 最新のディーゼルの実力
- 5) ディーゼルプロモーション活動

2. 「伝動ベルトにおける環境対応(省エネ)技術について」

昨今、伝動ベルトでも省エネルギー技術や環境負荷低減技術のような環境問題に対応する技術開発の重要度がますます増加している。ベルト伝動におけるエネルギー損失の大部分は熱エネルギーに変わり、ベルトの走行時の温度を上げ、ベルト寿命を低下させる。ベルト伝動の省エネルギーに結び付くこれらエネルギー損失の軽減には、ベルト側だけでなく、駆動システム側の損失軽減も重要であり、これら二つの側面から動力損失の軽減を追及する開発がなされてきた。当社におけるその技術開発事例を紹介する。

3. 「クリーンディーゼル自動車と燃費の動向」

今後、日本においても現実的なCO2低減方策の一つとしてディーゼル自動車(特に乗用車)の普及が望まれている。現在のクリーンディーゼル自動車の排出ガス低減技術と燃費技術と今後の動向を紹介する。

4. 「産総研の研究戦略とエネルギー研究への取り組み」

産総研では、毎年研究戦略を策定し公表している。本講演では環境・エネルギー技術に関わる産総研の研究戦略の概要を紹介するとともに、再生可能エネルギー(バイオマス燃料)および次世代自動車技術(電気自動車、燃料電池車)に関する取り組みについて紹介する。

<参加費>

会員:3,000円(学生:500円)

会員外:10,000円

<参加申し込み>

添付の申込用紙に必要事項をご記入の上、9月3日(水)までに、ベルト伝動技術懇話会事務局宛にE-mailまたはFAXでお申し込みくださいますようお願いいたします。

<連絡先>

ベルト伝動技術懇話会事務局

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学 工学部 機械系学科内

Tel:0774-65-6432 Fax:0774-65-6432

E-mail:belt@mail.doshisha.ac.jp URL:http://www2s.biglobe.ne.jp/~belt/

以上